

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 科学的思考の基盤	1 生物学	1 単位	15 時間	1 年

科目担当者： 非常勤講師

学習目標	1. 生命体の最小単位である細胞の構造と生命の関係を理解する。 2. 生命の発生のメカニズム及び遺伝子の基礎を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. ガイダンス・生物構成物質・細胞・細胞小器官	講義 90 分	
2 回	2. 細胞内小器官・原核生物・組織・器官	講義 90 分	
3 回	3. 細胞周期・細胞分裂	講義 90 分	
4 回	4. 発生・受精	講義 90 分	
5 回	5. DNA・RNA・転写・翻訳	講義 90 分	
6 回	6. 遺伝子・転写調節・突然変異・メンデルの遺伝	講義 90 分	
7 回	7. 遺伝のメカニズム・最後のまとめ	講義 90 分	
8 回	8. テスト	試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統別看護学講座 基礎分野 生物学 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 科学的思考の基盤	2 情報科学 I	1 単位	15 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 情報の取り扱いのルールを理解する。 2. PC の基本的な操作を習得する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 医療における情報システムの概要	講義 90 分	
2 回	2. Word の基本と演習	講義 90 分	
3 回	3. Excel の基本と演習	講義 90 分	
4 回	4. PowerPoint の基本と演習	講義 90 分	
5 回	5. 医療における情報システムの課題発表	講義 90 分	
6 回	6. 医療における情報システムの課題発表	講義 90 分	
7 回	7. 医療における情報システムの課題発表	講義 90 分	
8 回	テスト	試験 45 分	
評価方法	筆記試験 実技試験 レポート		
教科書	系統別看護学講座 基礎分野 看護情報学 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 科学的思考の基盤	3 情報科学Ⅱ	1 単位	30 時間	2 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 統計の役割を理解する。 2. 基本的な統計処理を理解する。 3. インターネットの活用ができる。 4. 看護研究の文献が検索できる。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 情報科学・統計とは何か	講義 90 分	
2 回	2. 情報科学、統計資料の見方	講義 90 分	
3 回	3. 統計資料の読み方	講義 90 分	
4 回	4. 平均と度数分布表	講義 90 分	
5 回	5. 平均とバラツキ、正規分布	講義 90 分	
6 回	6. 平均とバラツキの Excel での計算	講義 90 分	
7 回	7. 1～6の復習	講義 90 分	
8 回	8. 標準偏差と区間推定	講義 90 分	
9 回	9. 区間推定の実習	講義 90 分	
10 回	10. 平均値の検定実習、演習準備	講義 90 分	
11 回	11. これまでの復習	講義 90 分	
12 回	12. アンケート作成（実習）	講義 90 分	
13 回	13. アンケート集計、分析	講義 90 分	
14 回	14. アンケート集計、分析、Excel 分析補習	講義 90 分	
15 回	15. アンケート実習、発表	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験 実技試験 レポート		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 統計学 医学書院（検討中） 看護・医療系のための情報科学入門 新訂版 サイオ出版		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 科学的思考の基盤	4 情報科学Ⅲ	1 単位	30 時間	3 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 情報倫理と医療倫理について理解する 2. 情報処理について理解し、テーマに沿った文献検索ができる		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 情報と倫理 1) 情報倫理と医療倫理 2) 患者の権利と情報 3) 個人情報の保護	講義 180 分	
3 回	2. 情報処理 1) 既存の情報の収集方法	講義 180 分	
5 回	2) 調査によるデータ収集方法	講義 180 分	
7 回	3. 情報の発表とコミュニケーション 1) プレゼンテーションとは	講義 90 分	
8 回	2) プレゼンテーションの構成	講義 90 分	
9 回	3) 資料の作成と事前準備 (1) PowerPoint について	講義 90 分	
10 回	(2) PowerPoint の作成方法	講義 180 分	
12 回	4) 発表方法 (1) 口頭発表	講義 90 分	
13 回	(2) ポスター発表		
	(3) オンライン発表	演習 180 分	
15 回	4. 成果発表	発表 90 分	
評価方法	筆記試験 実技試験 レポート		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 看護情報科学 医学書院 (検討中) 改訂新版 情報倫理 ネット時代のソーシャル・リテラシー 技術評論社		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 科学的思考の基盤	5 論理学	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 論理的、批判的な思考能力を身につける。 2. 日本語を論理的に読み、書く能力を身につける。 3. 学問的な文章の構造を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. ガイダンス、「論理」とは何か	講義 90 分	
2 回	2. 接続詞の使い方 その1 1) すなわち・つまり・だから・なぜなら・たとえば	講義 90 分	
3 回	3. 接続詞の使い方 その2 1) しかも・むしろ・しかし・ただし	講義 90 分	
4 回	4. 指示語・接続の構造	講義 90 分	
5 回	5. 議論の大枠	講義 90 分	
6 回	6. パラグラフ・ライティング	講義 90 分	
7 回	7. 論証図の書き方と評価	講義 90 分	
8 回	8. 推測・仮説形成	講義 90 分	
9 回	9. 価値評価	講義 90 分	
10 回	10. 演繹的推論	講義 90 分	
11 回	11. 「ならば」を使った推論	講義 90 分	
12 回	12. 小論文演習①	講義 90 分	
13 回	13. 小論文演習②	講義 90 分	
14 回	14. 小論文演習③	講義 90 分	
15 回	15. 講義まとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	小テスト、筆記試験		
教科書	野矢茂樹 新版 論理トレーニング 産業図書		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 科学的思考の基盤	6 物理学	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 身体ケアに関する物理学を理解する。 2. 検査・治療・処置に関する物理学を理解する。 3. 看護技術の根拠を物理学的側面から説明できる。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 質点の力学（道のり、速度、加速度）	講義 90 分	
2 回	2. 質点の力学（等速直線運動と等加速度運動）	講義 90 分	
3 回	3. 質点の力学（重力が働く場合の質点の運動）	講義 90 分	
4 回	4. 質点の力学（問題演習）	講義 90 分	
5 回	5. 質点の力学（問題演習）	講義 90 分	
6 回	6. 質点の力学（問題演習解説）	講義 90 分	
7 回	7. 摩擦力とトルク	講義 90 分	
8 回	8. 摩擦力とトルク	講義 90 分	
9 回	9. 物質の密度、圧力、浮力	講義 90 分	
10 回	10. 物質の密度、圧力、浮力	講義 90 分	
11 回	11. 摩擦力、トルク、密度、圧力、浮力の問題演習	講義 90 分	
12 回	12. 摩擦力、トルク、密度、圧力、浮力の問題演習解説	講義 90 分	
13 回	13. 放射線の話	講義 90 分	
14 回	14. 中間テストの解説とテストに向けた解説	講義 90 分	
15 回	講義まとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	受講態度と試験で評価する		
教科書	看護・医療技術者のためのたのしい物理 中野正博著 日本理工出版会		
備考	進度や順序は学生の理解度に合わせて微調整する		

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 人間と生活・社会の理解	7 教育学	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 看護師になる者にとって教育とは何かについて考え、自分なりの意見を述べることができる。 2. 教育の哲学・歴史・方法学・子どもの発達・近年の教育事情等を概観し、各分野が抱える教育的諸問題について検討することができる。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. オリエンテーション・教育学とは	講義 90 分	
2 回	2. 教育と看護の関係	講義 90 分	
3 回	3. 学校教育の制度と歴史	講義 90 分	
4 回	4. 学習の理論	講義 90 分	
5 回	5. 教育評価と教育政策	講義 90 分	
6 回	6. 動機付けと教育	講義 90 分	
7 回	7. 人間の発達	講義 90 分	
8 回	8. 発達障害と特別支援教育	講義 90 分	
9 回	9. 教育の目的と方法	講義 90 分	
10 回	10. 教育における ICT 活用	講義 90 分	
11 回	11. 教師の専門性	講義 90 分	
12 回	12. 教師教育	講義 90 分	
13 回	13. 現代の教育的課題（いじめ・不登校など）	講義 90 分	
14 回	14. 世界の教育事情	講義 90 分	
15 回	15. 筆記試験（レポート形式）	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	授業時の態度・意欲・関心，課題への取り組み，最終レポート		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 教育学（医学書院）		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 人間と生活・社会の理解	8 文化人類学	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	文化人類学的なものの見方を学ぶことによって、自己や他者、自分を取り巻く社会を今とは異なる視点から捉えることができるようにする。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. オリエンテーション-文化を考える	講義 90 分	
2 回	2. 文化相対主義とはどのような考え方か	講義 90 分	
3 回	3. 多文化社会における宗教	講義 90 分	
4 回	4. 死と文化	講義 90 分	
5 回	5. 食と文化 1	講義 90 分	
6 回	6. 食と文化 2	講義 90 分	
7 回	7. 病と文化	講義 90 分	
8 回	8. 「子ども」の誕生	講義 90 分	
9 回	9. 人はなぜ贈り物をするのか	講義 90 分	
10 回	10. コモンズ論を考える	講義 90 分	
11 回	11. グローバル化する世界をマクドナルドから考える	講義 90 分	
12 回	12. フェアトレードは本当に「フェア」なのか	講義 90 分	
13 回	13. 身体加工と通過儀礼	講義 90 分	
14 回	14. 多文化共生社会を考える	講義 90 分	
15 回	講義まとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 人間と生活・社会の理解	9 人間発達学	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 人間の成長発達について述べることができる。 2. 各成長発達段階における心身の特徴を述べることができる。 3. 各発達段階における支援について述べることができる。			
回数	教育内容	時 間	方法と留意点	
1 回	1. 総論	講義 90 分	2・4・6・8・10・ 12 回はグループ ワーク 3・5・7・9・11・ 13 回は発表	
2～3 回	2. 現代の発達理論	講義・グループワーク 180 分		
4～5 回	3. 乳幼児期（子育て支援と子ども支援）	講義・グループワーク 180 分		
6～7 回	4. 学童期（メディア接触）	講義・グループワーク 180 分		
8～9 回	5. 思春期（自殺）	講義・グループワーク 180 分		
10～11 回	6. 青壮年期（ライフワークバランス）	講義・グループワーク 180 分		
12～13 回	7. 老年期（認知症）	講義・グループワーク 180 分		
14 回	8. まとめ	講義 90 分		
15 回	9. 試験・評価	試験 45 分 評価 45 分		
	（ ）内は現段階で想定しているキーワード。今後変更の可能性あり。			
評価方法	各発表の相互採点結果，筆記試験			
教科書	舟島 なをみ著 看護のための人間発達学 医学書院 神山潤著 ねむり学入門 新曜社			
備考				

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 人間と生活・社会の理解	10 倫理学	1 単位	15 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	現代の医科学技術をめぐる諸問題を生命倫理の視点からとらえ、豊かな人間観といのちへの深い洞察力が養われることをめざします。 またその成果が、日常生活や医療の現場においても実践され、看護師が、単に医療の行使者であるだけでなく、患者の代弁者としてケアの専門家であるという自覚を養いながら、常に社会の中で提言していくことのできる資質を身につけることを期待します。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 現代の生老病死、臨床研究の倫理	講義 90 分	
2 回	2. 死をめぐる自己決定と事例指示	講義 90 分	
3 回	3. 尊厳死・安楽死・オランダの事例から	講義 90 分	
4 回	4. 脳死と臓器移植	講義 90 分	
5 回	5. 生殖技術と優生思想	講義 90 分	
6 回	6. 家族と遺伝～DNAに規定されてゆく個体～	講義 90 分	
7 回	7. 死生観の伝統と多様性	講義 90 分	
8 回	8. テスト	試験 45 分	
評価方法	平常点 30 %（出席状況+授業参加度） 期末レポート 70%		
教科書	系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 人間と生活・社会の理解	11 英語	1 単位	30 時間	2 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 看護師として必要な基本的な英単語、英語の表現等を習得する。 2. ロールプレイを通じて、英語で応対する力を養う。 3. 異文化コミュニケーションに必要な心構えを学ぶ。 4. 自ら学習したことを活用し、まとめと発表と評価を行う。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. ユニット 1	講義 90 分	
2 回	2. ユニット 2	講義 90 分	
3 回	3. ユニット 3	講義 90 分	
4 回	4. ユニット 4	講義 90 分	
5 回	5. ユニット 5	講義 90 分	
6 回	6. ユニット 6	講義 90 分	
7 回	7. ユニット 6 (症状・徴候) 小テスト	講義 180 分	
8 回	8. ユニット 7	講義 180 分	
9 回	9. ユニット 7 (身体各部の名称) 小テスト	講義 90 分	
10 回	10. ユニット 8	講義 90 分	
11 回	11. ユニット 9	講義 90 分	
12 回	12. ユニット 10	講義 90 分	
13 回	13. ユニット 11	講義 90 分	
14 回	14. ユニット 12	講義 90 分	
15 回	講義まとめ・テスト	試験 45 分 講義 45 分	
評価方法	授業参加態度 筆記試験(小テスト含む)		
教科書	クリスティーンのやさしい看護英会話 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 人間と生活・社会の理解	12 レクリエーション論	1 単位	30 時間	2 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. レクリエーションの意味と歴史について理解する。 2. ライフサイクルとレクリエーションの関係について理解する。 3. 個人と集団におけるレクリエーションの実際を企画することができる。 4. 企画したレクリエーションを通して、心身の健康を保持しコミュニケーションを図ることができる。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. レクリエーションの概要、定義	講義 90 分	
2 回	2. レクリエーション・インストラクターの役割	講義 90 分	
3 回	3. レクリエーション・インストラクターのスキル①	講義 90 分	
4 回	4. レクリエーション・インストラクターのスキル②	講義 90 分	
5 回	5. ライフステージとレクリエーション	講義 90 分	
6 回	6. 高齢社会とレクリエーション	講義 90 分	
7 回	7. 少子化とレクリエーション	講義 90 分	
8 回	8. 地域とレクリエーション	講義 90 分	
9 回	9. レクリエーションの企画（協働作業と情報処理）	講義 90 分	
10 回	10. レクリエーション計画書の作成①	講義 90 分	
11 回	11. レクリエーション計画書の作成②	講義 90 分	
12 回	12. レクリエーション インストラクターのスキル③	講義 90 分	
13～14 回	13. グループワーク発表	講義 90 分	
15 回	講義まとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	日本レクレーション協会刊行 レクリエーション支援の基礎～楽しさ・心地よさを活かす理論と技術		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 人間と生活、社会の理解	13 心理学	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 心理学を学ぶ意義を理解する。 2. 機能としての心の働きについて学ぶ。 3. 他者との関わりの中で生じる心理について理解する。 4. さまざまな心理的援助方法について学ぶ。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. ガイダンス・心理学とは	講義 90 分	
2 回	2. 感覚・知覚・記憶	講義 90 分	
3 回	3. 学習心理学	講義 90 分	
4 回	4. 知能	講義 90 分	
5 回	5. 性格	講義 90 分	
6 回	6. 発達心理学	講義 90 分	
7 回	7. ストレスとメンタルヘルス	講義 90 分	
8 回	8. ストレスとメンタルヘルス 2	講義 90 分	
9 回	9. 自習（これまでの振り返り）	講義 90 分	
10 回	10. 集団心理学・社会心理学	講義 90 分	
11 回	11. 心理アセスメントと心理学援助技法	講義 90 分	
12 回	12. 心理学的援助法	講義 90 分	
13 回	13. 心理的援助技法・患者とのコミュニケーション	講義 90 分	
14 回	14. 患者とのコミュニケーション	講義 90 分	
15 回	講義まとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	レポート課題 授業への参加		
教科書	授業中の配布資料		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
基礎分野 人間と生活・社会の理解	14 人間関係論	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 援助の場における人間関係について、心理学的に側面から理解する。 2. 自己理解と他者理解を深め、良好な人間関係を形成するための対人関係能力（ヒューマンスキル）を身につける。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 人間関係論と学ぶ意義	講義 90 分	
2 回	2. アイデンティティと自己意識	講義 90 分	
3 回	3. QOL と SOL	講義 90 分	
4 回	4. 関係性のなかに見る貧しさ	講義 90 分	
5 回	5. 個別的関わりと看護	講義 90 分	
6 回	6. 自己開示と自己呈示	講義 90 分	
7 回	7. 初頭効果と公的自己意識	講義 90 分	
8 回	8. 傍観者効果と信頼	講義 90 分	
9 回	9. 社会的比較と看護の現場	講義 90 分	
10 回	10. チームワークとしての看護	講義 90 分	
11 回	11. 面接技法①	講義 90 分	
12 回	12. 面接技法②	講義 90 分	
13 回	13. 生命倫理と人間関係論	講義 90 分	
14 回	14. ロールプレイから人間関係の問題点を考える	講義 90 分	
15 回	講義まとめ	講義 90 分	
評価方法	レポート評価		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院		
備考			